令和８年度　盛岡市議会高校生議会委員長報告（委員会提言内容）

【観光振興委員会（岩手県立盛岡商業高等学校）】

１　さんさ踊りをもっと身近に感じてもらうため、年間を通して楽しめる仕組みや体験してもらう機会を設けること。

２　大規模アリーナ・ドームを建設し、ライブやスポーツ観戦の誘客を促進すること。

３　公共交通をより気軽で身近なものにすること。

４　「歩いて、体験して良さを見つける街もりおか」というキャッチコピーを設け、ペットを飼っている人などが訪れやすい環境整備を行うこと。

【こどもの権利委員会（盛岡市立高等学校）】

１　こどもが声をあげやすい環境の構築、その声を速やかに反映する仕組みをつくること

２　バス路線を最適化し、安心して登下校ができる公共交通の在り方の検討

３　校内で安心して過ごすことができる居場所の確保とカウンセラーや教職員同士の連携確保

４　学校での情報モラル教育の充実に加え、こどものスマホ利用の制限も含めたスマホ依存の対策

５　道路の街灯切れや街灯不足について改善するとともに、公園へも街灯を設置すること

６　公園にバスケットゴールなどの遊具を設置することでスマホ依存の緩和を行うこと

【雇用対策委員会（盛岡市立高等学校）】

１　岩手県内就職率の高い盛岡市立高校へ通学しやすい環境を整えることが、若者の県内定着を高める一つの方策となることから、通学のためのバスの便の充実を図る。

２　企業と高校生のつながりをつくる貴重な機会となっている「ものづくり人材育成事業出前講座」が、令和７年度は５社の企業の参加で開催されたが、８年度は１社の参加に事業が縮小されてしまったことから、こう言った事業の充実を図る。

３　企業を知る機会を増やすため、ティックトックなどのＳＮＳを活用した企業の情報発信の促進を図る。

４　高校生が大通りから肴町に足を向けない現状を改善するため、商店街の中に小中高校生が集えるお店やスポットを増やし、情報発信をする。

【農業活性化委員会（岩手県立盛岡第三高等学校）】

１　農家の安定した収入確保のための準公務員化

２　土地利用の規制を緩和し、経営などを市が支援する仕組みの導入

３　小中高での段階的な体験カリキュラムの導入

４　災害時の収入確保のための支援制度の拡充

５　岩手県内だけでなく海外等の幅広い範囲での販路の拡大に向けた支援